

あきた北農業協同組合

# 栽培・防除日誌

◇ 生産者情報 ◇					◇ 圃場情報 ◇
作物名	品種名	支店	生産者コード	生産者氏名	圃場合計面積
枝豆					a

指導員確認	①	②	③
	月 日	月 日	月 日
	印	印	印

◇ 作業工程 ◇					
作業名	実施日	内容	作業名	実施日	内容
土壌改良材施肥	月 日		葉面散布	月 日	
元肥施肥	月 日		収穫開始	月 日	
播種	月 日		収穫終了	月 日	
中耕培土①	月 日			月 日	
中耕培土②	月 日			月 日	

◇ 投入資材 (農薬を除く) ◇								
施肥日	コード	施肥量	施肥日	コード	施肥量	施肥日	コード	施肥量
月 日		kg	月 日		kg	月 日		kg
月 日		kg	月 日		kg	月 日		kg
月 日		kg	月 日		kg	月 日		kg
月 日		kg	月 日		kg	月 日		kg

◇ 投入資材一覧 ◇							
コード	資材名	コード	資材名	コード	資材名	コード	資材名
01	てんろタンカル(粒)	6	有機入り枝豆専用	11	土っ恋しよ	16	PSダッシュMEネオ
02	過燐酸石灰(粒)	7	野菜追肥専用S646	12	菜種粕	17	トップスコアリン
03	十和田石	8	苦土石灰	13	ペレットケイフン	18	
04	アヅミン	9	BMようりん	14	CDUたまご化成S555	19	
05	畑のカルシウム	10	過リン酸石灰	15		20	

◇ 防除関係 ◇					
防除時期	農薬使用日	農薬コード	希釈倍率	散布量	備考 (農薬一覧に無い農薬を使用する場合は農薬名を記入)
例1	4月20日	11	— 倍	8ml/kg	記入例 (4/20 クルーザーMAXXを使用)
例2	6月20日	14	1000 倍	200	記入例 (6/20 トレボン乳剤1000倍を2000/10a散布)
①	月 日		倍	0 /10a	
②	月 日		倍	0 /10a	
③	月 日		倍	0 /10a	
④	月 日		倍	0 /10a	
⑤	月 日		倍	0 /10a	
⑥	月 日		倍	0 /10a	
⑦	月 日		倍	0 /10a	
⑧	月 日		倍	0 /10a	
⑨	月 日		倍	0 /10a	
⑩	月 日		倍	0 /10a	

※ 農薬コードについては裏面の一覧を参照してください。

## 除 草 剤 一 覧

コード	除 草 剤 名	倍率	散布原液量 (10a)	除草剤 使用上注意点	使用時期 (収穫前)	使用回数	成分分類
01	クリアターン乳剤		500~800 ml	マルチ栽培では薬害が生じるおそれがあるため使用しない	播種後発芽前	1	A
02	クリアターン細粒剤F	-	4~5 kg				B
03	ラクサー乳剤		400~800 ml				C
04	ラクサー粒剤	-	4~8 kg	イネ科、広葉雑草 広く効果有り			D
05	トレファノサイド乳剤		200~300 ml	播種後発芽前 1回 生育期 畦間土壌散布1回 45日前	45	2	E
06	トレファノサイド粒剤2.5	-	4~6 kg				
07	ポルトフロアブル		200~300 ml	イネ科雑草に効果が高い 広葉、カヤツリグサ科には効果が期待できない	14	1	F
08	ナブ乳剤		150~200 ml	イネ科雑草に効果が高い スズメノカタビラ、広葉、 カヤツリグサ科には効果が期待できない	14	1	G
09	バスタ液剤		300~500 ml	畦間処理 雑草生育期	14	3	H
10	ラウンドアップマックスロード		200~500 ml	耕起前又は出芽前まで(雑草生育期)		3	I

※クリアターン並びにラクサーには同一成分が含まれているため、全面土壌散布はどちらか一回のみの使用となります

A:ベンチオカーブ B:ペンディメタリン C:リニユロン D:アラクロール E:トリフルラリン F:キサロホップエチル G:セトキシジム H:グロホシネート

## 殺 菌 剤 ・ 殺 虫 剤 一 覧

コード	殺 虫 ・ 殺 菌 剤 名	倍率	最大散布量 (10a)	対 象 病 害 名											使用時期 (収穫前)	使用回数	成分分類		
				茎 疫 病	黒 根 腐 病	ベ と 病	タ ネ と エ	ネ キ リ ム シ 類	フ タ ス ジ ヒ メ ハ ム シ	ダ イ ズ サ ヤ タ マ バ エ	マ メ シ ン ク イ ガ 類	カ メ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ア プ ラ ム シ 類				ハ ダ ニ 類	
11	クルーザーMAXX	種子1kg当り	8ml	●	●		●	●	●					●			塗抹処理	1	ウエオ
12	カルホス粉剤	-	4~6 kg				●	●									播種時	1	ア
13	スミチオン乳剤	1,000	300 l						●	●	●		●				21	4	キ
14	トレボン乳剤	1,000	300 l					●	●	●	●	●					14	2	イ
15	トレボン粉剤DL	-	3~4 kg					●	●	●	●	●							
16	アディオン乳剤	3,000	300 l					●		●			●				前日	3	ク
17	アグロスリン乳剤	2,000	300 l					●		●	●						7	3	ケ
18	アルバリン 又はスタークル 顆粒水溶剤	2,000~3,000	300 l						●		●		●				7	2	カ
19	アルバリン 又はスタークル粉剤DL	-	3 kg					●	●		●								
20	プレバソフロアブル5	4,000	300 l							●		●					3	3	コ
21	ダントツ水溶剤	2,000~4,000	300 l					●		●	●		●				前日	3	サ
22	ランマンフロアブル	1,000~2,000	300 l	●		●											3	3	シ
23	ライメイフロアブル	2,000	300 l	●		●											3	3	ス
24	フェスティバルC水和剤	600	300 l	●		●											前日	3	セ
25	ダニトロンフロアブル	2,000	300 l												●		7	1	ソ
26	コロマイト乳剤	1,500	300 l												●		前日	2	タ

ア:イソキサチオン(5回以内、播種時の処理1回、定植時1回、土壌表面散布1回(粒剤の土壌表面株元処理は2回以内) イ:エトフェンプロックス(2回以内)  
 ウ:チアメトキサム(3回以内、塗抹処理は1回) エ:メタラキシル及びメタラキシルM(1回) オ:フルジオキシニル(4回以内、塗抹処理1回、播種後3回以内)  
 カ:ジノテフラン(2回以内) キ:MEP(4回以内) ク:ベルメリン(3回) ケ:シベルメリン(3回) コ:クロラントラニプロール(3回)  
 サ:クロチアニジン(4回以内、播種時処理1回、播種後3回以内) シ:シアソファミド(4回以内、種子処理1回、散布は3回以内) ス:アミスルプロム(4回以内、種子処理1回、散布は3回以内)  
 セ:ジメモルフ(3回以内) ソ:フェンピロキシメート(1回) タ:ミルベメクチン(2回以内)

※農薬を使用する際は、必ずラベルを確認し、使用方法、希釈倍率を守って使用して下さい。

※枝豆は品種、同一栽培体系毎に記入し、各品種の収穫終了時には下記まで提出してください。

JAあきた北 販売営農部 TEL42-8800